

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成30年6月15日(金) 13:30～15:25
- 2 開催場所 天草市港町9番1号 天草ケーブルネットワーク(株)会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名
出席委員数 5名 欠席委員数 3名
出席委員の氏名 松下美奈子(委員長) / 古賀源一郎(副委員長) / 明瀬実 / 山口誠治 / 原田竜一
欠席委員の氏名 中川竹治 / 永田章一 / 野上俊樹
放送事業者側の出席者 代表取締役 馬場昭治、総務部長 赤石一馬
メディア事業部長 芥川琢哉 事務局 脇坂公敏
オブザーバー 天草市情報政策課係長 石井隆
天草市秘書課広報広聴係係長 宮本諭、参事 河本智

4 議題

- [1] 開会、委員長挨拶、社長挨拶
- [2] 番組聴取、審議
- [3] 現在の番組編成について
- [4] その他

5 議事の概要

(1) 松下委員長が開会宣言、委員長挨拶、代表取締役 馬場が挨拶を行い、番組の聴取、審議に入った。

(2) 番組聴取、審議

- ① 天草市議会議員一般選挙 開票速報番組(3月25日、20:45～24:16)について
番組聴取に併せて、芥川から番組の主旨、ラジオスタジオ・TVスタジオ・開票所からの3元中継、TVとの共同制作、内容として開票速報、意見交換会、街頭インタビューの紹介、メッセージの紹介を行った旨の説明が行われた。

【審議】

(原田委員) 開票速報に加えて、意見交換会も行われクオリティが高かった。

(松下委員長) ケーブルテレビのエリア外の方は、市の選挙での速報の放送は初めての体験だった。

(古賀副委員長) 各候補の選挙事務所に応援に駆けつける支援者からは、開票速報に徹してもらった方が良いという意見だった。ラジオしか聞けない地区の方は開票の動向や、次の発表予定の時間などが分からないと不安になる。そのような内容をこまめに織り込まないと、別のラジオ放送やテレビ視聴に乗り換えたりと、リスナーに響かないのではないかと。

(松下委員長) 意見交換会を企画した意図を制作者側から説明いただきたい。

(芥川部長) 今までではケーブルTVで開票速報のみの中継を行っていた。その時は各候補の支援者からは反応があったが、市政に興味がない人の反応は薄かった。そこで、今回は市政に興味がない人へのアピールを番組に盛り込みたく、意見交換会を企画した。30分毎の定時の開票速報は確実に伝える事に徹した。また、リスナーから、市政に関する事や市会議員に期待する事などについてメッセージを募集し、番組内で紹介した。

弊社の強みでもあるメディアミックスを行い、テレビとラジオ合同で同じ番組に取り組んだ。

(明瀬委員) 半年でよくここまでの番組ができたなと感じる。とても良い取り組みだったと思う。

(松下委員長) 開票の緊張感も伝えつつ、このような意見交換会も交えた、リスナーを飽きさせない番組作りをもっと発展させてほしい。それともっと幅広い人に出演いただければ更によかったのかもしれない。例えば農業従事者とか漁業関係の方とかも含め、各地域で頑張って汗をかいている人を交えて欲しかった。

(芥川部長) 反省点の一つとして、6人のゲストから話を聞いたのだが、(ラジオでは)誰が発言しているのか分からなかったとの指摘があった。こういった点も次の機会では改善したい。

(山口委員) 選挙は当事者、支援者にとっては4年間の集大成であり、思い入れも強く、一刻でも早く状況を知りたいという気持ちはよくわかる。しかし、興味が薄い人は、話のタネに聴いておくかといった程度である。意識を上げるには、4年かけて様々な情報を流し、長い目で民度を上げ、市民一人一人が応援する候補者を決めるくらいになるよう、努力する事が必要だ。朝の番組「めいどサロン」で取り組んだが、市会議員の話を聞く番組なども必要なのでは。また、陳情をどんどんくださいといったコーナーをつくるのも面白いのでは。

(明瀬委員) 議員にとっても、自身のPRの場になるので前向きにとらえてもらえるのではないかな。また政治の仕組みについても情報を流す必要があるのではないかな。

(古賀副委員長) 確かに、選挙の日は普段は無関心な人にも少しは興味を持ってもらえる日だと思う。政治の仕組み、選挙について、政治家を選ぶとはこういう事ですよ、といった内容の解説があったら、もっと市政への理解が深まると思う。

(原田委員) 青年会議所で投票率を上げるという取り組みを以前から行っている。ラジオと一緒に4年かけて取り組みをやるのも良いかもしれない。

(古賀副委員長) 投票率は都市部から周辺部に行くほど、落ちる傾向にある。周辺部では投票所が遠いので、行きたくても行けずあきらめる人が出てくる。

(松下委員長) ラジオを使って、投票率を上げるアイデア募集なども行うのも良いかもしれない。例えば投票バスを走らせるとか、スマホで投票するとか。

その声が市政に反映されたらみつばちラジオの意義がでてくる。

② 朝のみつばちラジオ（以下、朝みつ）について（月～金 7:30～9:00）

番組聴取に併せて、芥川から番組の主旨、人員体制、放送内容、現在の状況などの説明がなされた。

【審議】

（原田委員） パーソナリティの河口さんは安定感がでてきた。毎日たくさん情報を仕入れたり相当努力をしているのが分かる。親近感もあり、とても良い。

（古賀副委員長） 朝は河口さんの声が定着したような気がする。朝の渋滞でイライラしている人もこの番組を聞いて一息入れて、それから、今日は何があるかなと情報を得ていると聞いている。交通リポートに関しては、他の所からできないのか？

（松下委員長） 交通リポートに関しては私も他の所からのリポートが欲しいと思う。河口さんに関してはリスナーの言葉に対しての共感力が素晴らしい。そして、彼女の返す言葉も前向きでかつ感性豊かで聴いていて楽しい。毎日楽しみに聴いている。

（古賀副委員長） みきーたさんは安定感、安心感がある。

（松下委員長） 新たに山崎さんも入るので楽しみである。

（芥川部長） 現在、河口が月曜から木曜まで担当をしていて、負担が大きいのと病欠などの場合のバックアップが必要なので、層を厚くする必要があり、新たに木曜日を山崎さんをお願いする事になった。

（馬場社長） 今、朝の番組でラジオ体操を流している。ラジオ体操には全国各地の方言で掛け声をかけるご当地版ラジオ体操があるのだが、これを流してはいかがか？

（松下委員長） 天草弁で作ってはどうか？

（古賀副委員長） 上中万五郎先生に天草弁で作ってもらえば良いのでは。

（馬場社長） 天草弁ラジオ体操についてはぜひ検討したい。あと、8時8分8秒のみつばち記念日だが、リスナーの皆さんから、素晴らしい心のこもったメッセージをもらっている。ある程度、数が揃ったら出版したいと考えている。

（松下委員長） 流れる情報だけでなく、形に残る情報を作る事も大切だと思う。

（芥川部長） 放送開始の時間について意見をください。市民はもっと早く動いているのではないか。

（松下委員長） 個人的には丁度いい。また、お母さん方からは子供の送り迎えの時間なので丁度いい時間で気持ちいいと聞いている。

（明瀬委員） 瀬戸方面など渋滞して聴きやすい時間帯なのではないか。

（古賀副委員長） 早く始めるにこしたことはないが、無理するより今の時間で充実させる方が良いのでは。求めすぎてもきりが無い。

（河本オブザーバー） 私は牛深から朝7時に出て、8時に市役所に到着する。朝みつ

の前の番組「おはよう天草」から聴いている。「おはよう天草」の前後半の間で流れる5分間のBGMがもったいなく、その時間でも情報を流して欲しいと思う。民間の方はもっと早く動いているのではないか。7時過ぎると急に車が増える。

(松下委員長) 体制を整えば早くからした方がよいのかもしれない。

(古賀副委員長) パーソナリティの負担が大きくなるのでは。

(馬場社長) 河口さんなどは朝3時に起床していると聞いている。朝のTVも番組も併せて検討を進める。

(古賀副委員長) 第二、第三の河口さんを育て、体制を整えるのが重要ではないか。あと、朝の番組で情報に徹している構成は良いと思う。時間帯によって番組構成を変えるべきだ。それと、市長の動きで庁内協議をお知らせする必要があるのか。

(宮本オブザーバー) 確かに必要がどうか疑問である。みつばちラジオ側と協議して、庁内協議をリスナーに知らせるべきか、知らせるならどういった表現が良いか検討したい。

(3) 番組編成、今後の予定

芥川部長から、現在のタイムテーブルを元に新番組、新パーソナリティなどの紹介がなされた。また、馬場社長から、ラジオ、テレビを統合したメディア事業部を発足し、ケーブルテレビ制作、ラジオ制作、ドローン、イベント、広告営業を複合的に進める旨の説明が行われた。加えて、6月29日、30日の世界遺産登録の発表を控えている河浦町崎津地区のパブリックビューイングの様子の生放送、7月28日の天草ほんど花火大会の解説入りミュージック花火の生放送の予定などが詳しく説明された。

(古賀副委員長) リスナーの動向はつかめているのか。夕方の番組が金曜日以外は弱いのではと話に聞く。

(松下委員長) お母さんたちが、お迎えの帰りに聴いていると聞いている。

(山口委員) 年配の方はやはり朝きいているようだ。それと、昼間、車で移動中に聴く人、固定的に聴いている人、様々である。

(松下委員長) 年配の方は、アプリが使えない人が多く、なかなかメッセージを送ることができない。動向を知る時、メッセージを送ってくれる人は把握しやすいが、その後ろにサイレントリスナーが数多くいる事を忘れてないで欲しい。

(松下委員長) 金曜日のはちさんラジオは人気が高いが、中には全く分からないという人もいる。個性が強いメンバーの番組なのでこれはこれで良い。

(古賀副委員長) 落合さんがうまくコントロールをしている。またパン屋も成長を感じる。人気があるのはうなずける。

(原田委員) この番組を東北の人が聴いたりしている。ラジオには人材の発掘する力があると感じた。

(松下委員長) わわわの子育て番組に関しては、まだ始まったばかりなので棒読み感がある。ラジオの前にいるお母さん方に語りかけるようになればよ

いと思う。子供の声を入れるのはとても良い。しかし、泣き声を入れるのは敏感な母親にとっては良くないかもしれない。今後を期待したい。
(古賀副委員長) わわわの番組で行政の言葉を使う時があるが、もっとくだけた言葉を使ってもいいのでは。

(馬場社長) 一度、わわわの番組の制作会議に松下委員長に参加してもらいたい。
(古賀委員長) 市の番組も行政独特の言葉を使うので、分かりやすくした方が良いのでは。補助金なども何に使えるのかわかりやすく説明すべきだと思う。

(4) その他

(松下委員長) 火災情報の流し方だが、先日、浄南町で「その他火災」が発生した。近くに障がい者の施設があったが、サイレンの音が聞こえても、彼らはどこで何が起きているのかわからなかったとの話を聞いた。「その他火災」なのであえて放送しなかったと聞いたが、やはりラジオでも放送すべきであった。

(古賀副委員長) 天草市は広域なため、他地区の火災情報はいらぬのではとの意見もあるが、生放送の時はやはり流した方が良いのでは。

(松下委員長) 市が広域になり、各地域の交流、移動が活発になっているので必要だと思う。

(芥川部長) 生放送中は可能だが、今日の早朝の火事のように、放送時間外の場合、どのような対応が適切か。

(古賀副委員長) 朝の放送が始まった時、火事があった旨を伝えればよいのでは。今後、防災の個別受信機も配布される予定である。もちろん、外にいる人、車で移動中の人にはラジオで伝えるべきだが、それは、放送時間内で伝えられるのでは。大震災などの危機的な状況では、緊急番組をする必要はある。

(山口委員) 私は浄南町の火事について、外出中に熊本の知人から問合せがあった。防災は助けあいなので、個別受信機が配布されても、ラジオにはラジオでしか知る事ができない人に伝える役割がある。

(松下委員長) 旅行者に火災情報を知らせる事にも役立つ。また、放送するに際し、「速やかな消火活動にご協力ください。」など付け加えたら消火活動に貢献できる。

(山口委員) 住民が不安に思う事にラジオは対応すべきだと思う。

(古賀副委員長) 市民の不安の解消がみつばちラジオの責務かもしれない。

以上、すべての審議が終わり、松下委員長は閉会の辞を述べ、委員会は終了した。

(2) 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ(8月予定) <http://www.acn-tv.ne.jp/>

以上